

1. 岩手県

○医療体制の復旧状況

・岩手県の沿岸部にある公立7病院の勤務医師数は、復興支援による医師派遣等の理由から震災前と比較して、平成25年3月1日時点で、9名増加している(128名→137名)。一方、沿岸部の医療圏内の病院に勤務する看護職員については、震災前と比較して、平成25年3月1日時点でやや減少(約4%)している。

2. 宮城県

○医療体制の復旧状況

・石巻と気仙沼の医療圏内の病院の勤務医師数は、震災前後の立入調査時の人数を比較すると、両医療圏の合計で、震災前と比較して約89%となっている。同じ医療圏内の病院に勤務する看護職員については、震災前と比較して、平成25年3月1日時点で、約95%となっている。

3. 福島県

○相双医療圏(緊急時避難準備区域であった地域)

・福島県の緊急時避難準備区域であった地域にある病院の常勤医師数は、震災前と比較して、平成25年3月1日時点で、同数となっている。同じ地域の病院に勤務する常勤看護職員については、震災前と比較して、平成25年3月1日時点で、約76%となっている。